

身近なもので手作りおもちゃ

子育て支援センターおひさま

身近にあるものでおもちゃを手作りする、遊び道具作りが6月12日、子育て支援センターおひさまで行われました。参加した10組の親子は、牛乳パックを使って「絵合わせボックス」を作製。知育にも役立つおもちゃが完成しました。お子さんの遊び道具を手作りすることは愛情表現のひとつ。今後も開催を予定しておりますので、多くの親子の参加をお待ちしております。



▲ママ同士で話をしながら楽しく「遊び道具づくり」

板橋地区で初の試み

世代間交流会に幅広い世代が参加

6月10日、板橋地区の世代間交流会が開催され、参加した2歳から90歳を越す幅広い年齢層が食事をしながら楽しく交流しました。地区の誰もが顔と名前がわかるように、隣組ごとに家族を紹介。昔話も飛び交い、和やかな雰囲気会の会となりました。3年前に金山に嫁いだ三浦真弓さんは「地区の関わりが増えることはとても嬉しい。皆さんと話すきっかけになった」と喜んでいました。



▲家族ごとに改めて自己紹介をしながら親交を深めた

▼(右から) 入賞された矢作さん、今井さん、佐藤さん



ターゲットバードゴルフ

町から3名が全国大会へ

第21回東北ブロックTBG大会が6月2～3日の2日間、岩手県北上市で開催され、町からは6名が出場しました。一般女子の部では、矢作たつ子さんが準優勝、佐藤芳子さんが5位に入賞。一般男子の部では今井直俊さんが4位に入賞し、金山勢が大健闘を見せました。入賞を果たした3名は10月に開催される全国大会に駒を進めます。ますますのご活躍を期待しています。

▼3グループに分かれてディスカッション形式で行われた



新庄南高校金山校で進路講話

先輩がアドバイス「何事もチャレンジ」

卒業生3名が講師となった進路講話が6月12日、新庄南高校金山校で行われ、対象の2年生が将来について考えました。高校時代にやっておくべきことなどを先輩が丁寧に伝授。生徒らはメモをとりながら熱心に聞き入り、多くの質問が出されていました。講話を受け、「何事もチャレンジして、多くの経験することが大事だと学んだ。来年の進路選択に活かしたい」と生徒らは話していました。



今年のテーマは戊辰戦争

梁川播磨戦死の地などを巡る

6月7日、歴史学講座が開催され、金山町と舟形町に残る戊辰戦争跡を訪れました。町内では、戦場となった森合峠を歩き、梁川播磨戦死の地や戊辰戦争戦没碑、上台墓地の岩出山藩士の墓を見学。遺族の方が現在もお参りにくるという碑の前に、参加者はいにしえに想いを馳せていました。今年の歴史学講座は「戊辰戦争」がテーマ。今後も開催を予定していますので、ぜひご参加ください。



▲羽場地区では仙台藩士「倉兼小兵衛直秀の墓」を見学した

まちのわだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

新園舎で「めぐたまマルシェ」

多くの家族連れでにぎわう

認定こども園めぐたまで6月17日、初の試みとなる「めぐたまマルシェ」が開催されました。園舎・園庭を開放し、飲食店やワークショップ、物販など30の個人・団体が出店。訪れた人たちは、わら細工や木工品など地元産品を生かした各ブースを思い思いに楽しんでいました。多くの家族連れで賑わい、昨年完成した新園舎を地域の皆さんにお披露目の機会にもなりました。

▼特に多く持ち込まれた衣類は海外で再利用される



衣類や小型家電2tを回収

町衛生組合連合会が無料リサイクル

6月2日、金山町衛生組合連合会による無料リサイクル回収が行われ、延べ60名が衣類や段ボール、オーディオ機器などを持ち込みました。この日だけで約2tの資源を回収。無料回収は、10月にも農村環境改善センター前で実施する予定です。また、通信機器やパソコン類などの使用済小型家電は役場環境整備課で随時回収しています。ぜひ資源の再利用にご協力ください。